



そこに

山ガールが

あるから。

for Adult



いつもの朝の
通勤ラッシュ

ホームの
屋根越しに
青空を
眺めていた私は

思わず
反対方向の
電車に
飛び乗った



山！



そう思った時

天使に
出会ったんだ



腹減って
もう動けねー

夕刻...

自暴自棄
だったのかも
しれない

はは
参ったなこれ

ただ...
登って登って

俺...ここで
死ぬのかな

彼女たちは
登山の途中で

私が倒れていた
近くに偶然
テントを張って
いたらしい



インスタント
中心だったが

少女達の
暖かな
手料理



クラスのこと
放課後のこと

生き生きとした
少女達が
眩しくて

穏やかな時間
他愛もない
会話



私は
大人げなく
少女達の前で
涙を流していた

「もう
帰れなくていい」

「このままここで
果てたい」

そんな泣き言を
漏らしたような
気がする

夜の風が
優しく
吹き抜けた

今夜は
細かいこと
忘れて

山はただ
静かに
受け止めた

ゆっくり
ここを
楽しもう

誘われるまま
潜り込んだ
テントの中は

少女の匂いで
満ちていた

少し待って

ランタンの光で
白く浮かび上がる
少女の肌

拭汗
拭くから

我を忘れて
おしゃぶり
付いた

ま...
待って
ば

あんっ

きゃい
ちゅ
は

べ
べ
べ



ひ…
ひなた…

外…
後片付け
お願い

明日は
わた…しが

ひゃうんっ

う…うん

あ…
あおい…

まだ未成熟な
身体を

やる…あつ
から



欲望のまま
触りまくった

んっ

あ…

あんっ



絶頂後
脱力しても
なお

びったり
閉じた
クレバス

ぬちゅ

そこを
無理矢理
こじ開けたい

あ…あの私
初めてだから

寝て…ん…

その考えで
頭が一杯に
なった

きやあつ





ひやあああつ!!!

狭かった
入り口に
無理矢理
突き入れる

本当に
初めてだった
ようだ

ぢゅ
ぢゅ



しかし
少女の身体を
気遣う余裕は
無かった

熱く狭い穴が
繰り返して
締め付けてくる

ズン
ズン

ズン
ズン



おしろい

自分の欲望
全てを

この少女に
受け止めて
貰いたかった



脈打ち
必死で
押し返して
幼い穴に

ひたすら
突き入れ

かきまわし

貪った

スチュッ
ドチュッ
あ
スチュッ
ドチュッ

破瓜の痛みに
耐える少女の
顔に

わずかに
快感の表情が
混じり始めた時

あぁ
びしょ

膣の一番奥で
射精した

びしょ
びしょ

ゴッ

山の夜の
始まりだ

どんどん
溢れ出す

小さな子宮に
収まりきら
なかつた
精液が

ゴッ

静かになった

終わった…
のかな？

ひなた
すごかった

ああ

あー

あー



あんな声
出ちゃうんだ

カキヤ

すい
可愛くて…

私も
あんな声

えっちな声…



出してみた…

くちゅ

＃
／
＼



●みなさまこんにちは&はじめまして。こけこっこ☆こまと申します。

●さて今回はヤマノススメ本です。

●アニメでは高校生キャラなのにどう見ても小学生にしか見えなくて素晴らしいです。

●あおいは私服がエロくて素晴らしいです。

●ひなたも私服がエロくて素晴らしいです。

●ここなちゃんさんもかえでさんも可愛いよ。



●微妙に登山道具を買っちゃったのでお散歩程度の山に行きたいです。

●それではまた～

こけこっこ☆こま
2014/12



あ…
あのっ

もう一人の
少女が
月明かりの中
佇んでいた



事を終え
外の空気を
吸いに
テントから
出ると



暖めっこ
しませんか

だから…

山の夜は
冷えますね

テントの中で
と思ったが

あっ

外が良いと
言う

友達に
見られるのが
恥ずかしい
らしい

はわっ

おひゃん

ひゃああ

この期に
及んでなお
恥じらい
隠そうとする手を

か細い身体が
月明かりを
浴びる

父親以外の
男性には

あっ

無造作に
剥がし取る

待って…

きやう

わち

あ

見られたことの
ないであろう
その部位を

押し開き
中身まで
じっくりと
観察する

は

ここまで登ってきた少女の

くんにゃ

あぁ...

ららら

洗っていない今日一日分の味をじっくりと楽しむ

あ

じゅるる

さっきの子よりもさらに幼く見えたが

ピチャ

溢れる液体に塗れたそこは月光を反射し誘惑している

もう限界だ

はぁはぁ

まだ固いつほみに乱暴に挿入する

ズンズン

ああんっ

ズンズン

ズグッ
ズグッ

突然体内に
入って来た
異物

この子も
やはり
初めてだった
ようだ

ずるん

ひんあ
ズグッ
ズグッ

そして
痛み

ひんあ

健気に
耐えている
これが…

ずんずん
ずんずん

ずんずん

か細い身体で
山に行く
山ガール
山少女の心



本人の
意思とは
関係無く

少女のそこは
熱く優しく
包み込んでくれる

テントに
聞こえないように
気遣う少女の

抑え気味の
小さな悲鳴が

欲望をさらさら
加速する



そして全てを
受け入れてくれた
少女に

根本まで
深々と
挿入したまま

たつぷりと
射精した

んん、

まだ幼い
臍内が

精液で
溢れた



その後も
狭いテントの
中で

二人の少女と
何度も何度も

欲望のままに
肌を重ねた



そして――

ありがとう



汗だくの
少女に
挟まれたまま

泥のように
眠りに落ちた

山の朝は
早い

聞き慣れない
鳥の声と
湯の沸く音
だけが響く

そして…
日の出



行くか…



小さな
天使達に
見送られ
ながら



いつもの朝を
向かえる
ため

朝の空気…

悪くないな

山と
山ガールに

ありがとう

山を下りた

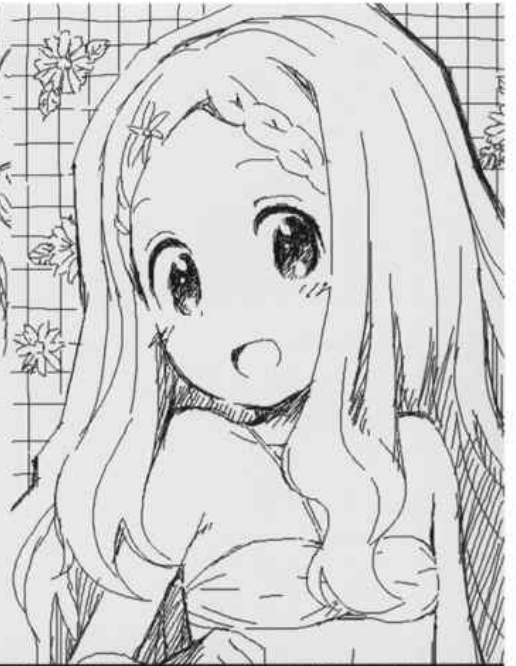




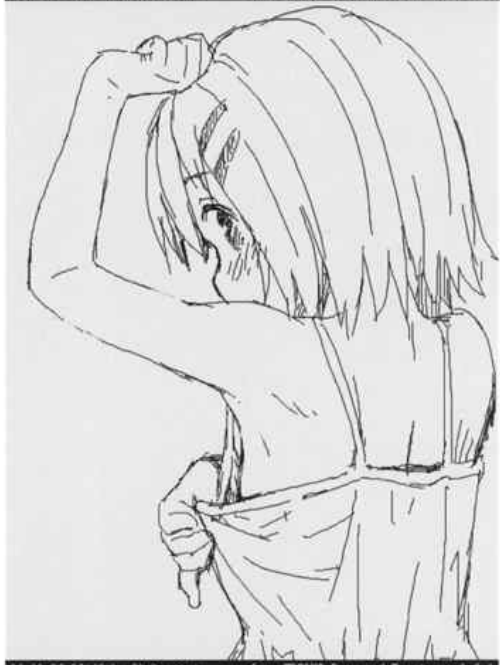
14-12-11 09:14 by @koke_coma from TEGAMI Draw and Tweet ver.1.4.4



14-12-15 01:31 by @koke_coma from TEGAMI Draw and Tweet ver.1.4.4



14-09-18 15:43 by @koke_coma from TEGAMI Draw and Tweet ver.1.4.4



14-11-26 22:46 by @koke_coma from TEGAMI Draw and Tweet ver.1.4.4

そこに山ガールがあるから。

発行日
2014/12/30

著者
こけっこ☆こま

発行
じどー筆記

website
http://www.geocities.jp/k_coma/

email
coma@kra.biglobe.ne.jp

印刷
ねこのしっぽ



14-12-16 04:10 by @koke_coma from TEGAMI Draw and Tweet ver.1.4.4



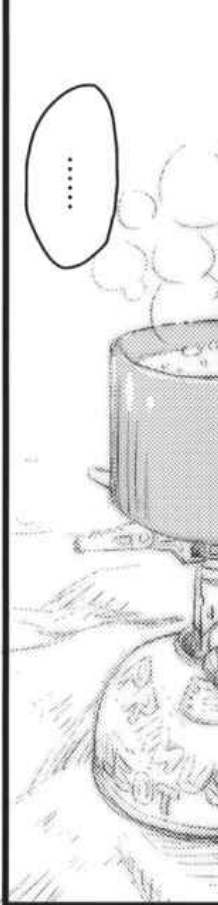
14-10-23 00:27 by @koke_coma from TEGAMI Draw and Tweet ver.1.4.4



14-12-14 23:50 by @koke_coma from TEGAMI Draw and Tweet ver.1.4.4



14-11-17 14:28 by @koke_coma from TEGAMI Draw and Tweet ver.1.4.4



END